

青山学院大学大学院

年度	2025
研究科	会計プロフェッション
専攻	プロフェSSIONナル会計学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	英語
科目詳細	
解答区分 (該当に○)	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

【問題1】

本問題は、1973年の国際会計基準委員会（IASC）の創設と当時において各国で異なる会計基準の調和化を指向した理由ないし背景、これに加えて情報社会の発展に伴う財務報告書の将来を見据えた議論の一部を出題し、正確な翻訳を求めた。国際会計の領域について一定の理解があるか、また財務会計の領域において頻出する専門用語を十分に理解しているかどうかを問うた。

【問題2】

会計基準の中立性の意義に関する議論の一部を出題し、正確な翻訳を求めた。いわゆる会計政策には、会計基準の設定（マクロレベル）と会計方針の選択・変更（マイクロレベル）のふたつがあるが、本問は前者に焦点を当て、会計基準の経済的影響論に對抗し、財務報告の信頼性を確保する観点から中立性の重要性を主張する見解を正しく理解しうるかどうかを問うた。